

医学部医学科 カリキュラム・マップ

卒業・学位授与方針（ディグリー・ポリシー）における修得できる力					
医学部 医学科	実践力	探究力	コミュニケーション力	専門力	教養力
	他者と繋がり医学・医療の課題解決に挑む実践力	生命や事象をありのままに捉え、医学 医療の課題を見出す探究力	薬・医療において他者と繋がり学び合うコミュニケーション力	地域・世界の薬・医療が求める基礎的かつ体系的な専門力	薬・医療や社会に関心を持ち、学びを習慣化する力
	医療者、医学研究者として、地域・世界の多様な医療課題の解決に向けて高い倫理観を持って自ら進んで行動することができる。	医療者、医学研究者として、恒常的な医療の質向上に向けて、絶えず学術的且つ多角的な視点で課題を見つめ取り組むことができる。	医療者、医学研究者として、多様な方法を適切に用いながら、共感性豊かな対話と傾聴によって差異を超えて互いを高め合うことができる。	医療者、医学研究者として、専門領域における基盤的知識・技能を高い水準で身につけ、必要に応じてしなやかに伸長させながら的確に発揮することができる。	医療者、医学研究者として、地域・世界の多様な医療課題に関心を持ち、豊かな人間性と深い教養を身に付けるために絶えず好奇心を持って学び続けることができる。

科目区分		年次	授業科目名	必修 選択	単位数	修得できる力				
						実践力	探究力	コミュニケーション力	専門力	教養力
	専門基礎科目	1	医学セミナー（チュートリアル）（学部ガイダンス科目）	必修	1.6		○	◎		○
	専門基礎科目	1	医学生物学	必修	1.6		○		◎	○
	専門基礎科目	1	医学概論	必修	0.4		○		○	◎
	専門基礎科目	1	遺伝学	必修	0.4		○		◎	○
	専門基礎科目	1	臨床医学入門	必修	1		○		◎	○
	専門基礎科目	1	基礎放射線学	必修	0.8		○		◎	○
	専門基礎科目	1	発生学	必修	0.7		○		◎	○
	専門基礎科目	2	医学データサイエンス	必修	1.2		○		◎	○
	専門基礎科目	1	人体の構造 入門	必修	1.4		○		◎	○
	専門科目	1	早期体験実習Ⅰ,Ⅱ	必修	0.6	○		○	◎	
	専門科目	1	チーム医療演習	必修	0.5	○		○	◎	
	専門科目	1	早期地域医療体験実習Ⅰ,Ⅱ	必修	1.9	○		◎	◎	
	専門科目	1	細胞組織学	必修	1.4		○		◎	○
	専門科目	1	細胞組織学実習	必修	0.9	○	○	○	◎	
	専門科目	2	人体解剖学	必修	1.4		○		◎	○
	専門科目	2	系統解剖学実習	必修	3.2	○		○	◎	
	専門科目	2	神経構造学	必修	2.1		○		◎	○
	専門科目	2	神経構造学実習	必修	0.7	○		○	◎	
	専門科目	2	生理学Ⅰ	必修	2.6		○		◎	○
	専門科目	2	生理学Ⅰ実習	必修	0.3	○		○	◎	
	専門科目	2	生理学Ⅱ	必修	2.6		○		◎	○
	専門科目	2	生理学Ⅱ実習	必修	0.3	○		○	◎	
	専門科目	1	生化学	必修	2		○		◎	○
	専門科目	1	分子医化学	必修	2		○		◎	○
	専門科目	1	生化学実習	必修	0.3	○	○	○	◎	
	専門科目	1	分子医化学実習	必修	0.3	○	○	○	◎	
	専門科目	3	薬理学	必修	3.2		○		◎	○
	専門科目	3	薬理学実習	必修	0.4	○		○	◎	
	専門科目	3	病理学Ⅰ	必修	2.8		○		◎	○
	専門科目	3	病理学Ⅰ実習	必修	0.5	○			◎	
	専門科目	3	病理学Ⅱ	必修	3.2		○		◎	○
	専門科目	3	病理学Ⅱ実習	必修	0.4	○		○	◎	
	専門科目	3	細菌学	必修	2.6		○		◎	○
	専門科目	3	細菌学実習	必修	0.3	○		○	◎	

科目区分		年次	授業科目名		必修 選択	単位数	修得できる力				
							実践力	探究力	コミュニケーション力	専門力	教養力
専門教育科目	専門科目	3	ウィルス学		必修	2.7		○		◎	○
	専門科目	3	ウィルス学実習		必修	0.2	◎	○	○	◎	○
	専門科目	2	免疫学		必修	2.6		○		◎	○
	専門科目	2	免疫学実習		必修	0.1	○		○	◎	
	専門科目	2	寄生虫学		必修	1.2		○		◎	○
	専門科目	3	医学研究インターンシップ		必修	8	○	◎	○	○	○
	専門科目	3	基礎病態演習		必修	3.5		◎	○	○	
	専門科目	4	臨床病態演習		必修	0.3	○		○	◎	○
	専門科目	4	衛生学		必修	1.6		○		◎	○
	専門科目	4	公衆衛生学		必修	1.6		○		◎	○
	専門科目	4	公衆衛生学/疫学・衛生学実習		必修	0.4	○		○	◎	
	専門科目	3	地域医療体験実習Ⅰ,Ⅱ,Ⅲ		必修	1.8	○		◎	◎	
	専門科目	1~5	プロフェッショナリズム・行動科学Ⅰ,Ⅱ,Ⅲ,Ⅳ,Ⅴ		必修	8.4	○		○	◎	
	専門科目	4	法医学		必修	3.2	○	○		◎	
	専門科目	4	法医学実習		必修	0.2	○		○	◎	
	専門科目	3	内科総論		必修	0.5		○		◎	○
	専門科目	3	外科総論		必修	0.3		○		◎	○
	専門科目	3	臨床放射線総論		必修	0.6		○		◎	○
	専門科目	3	臨床検査総論		必修	0.6		○		◎	○
	専門科目	3	腫瘍学		必修	0.6		○		◎	○
	専門科目	4	生命倫理学		必修	0.6		○		◎	○
	専門科目	3	医事法		必修	0.4		○		◎	○
	専門科目	4	形成外科学		必修	0.5		○		◎	○
	専門科目	4	小児外科学		必修	0.4		○		◎	○
	専門科目	4	臓器・系統別統合講義	循環器系	必修	1.5		○		◎	○
	専門科目	4	臓器・系統別統合講義	呼吸器系	必修	1.5		○		◎	○
	専門科目	4	臓器・系統別統合講義	腎泌尿器系	必修	1.2		○		◎	○
	専門科目	4	臓器・系統別統合講義	内分泌・代謝系	必修	1.1		○		◎	○
	専門科目	4	臓器・系統別統合講義	消化器系	必修	1.8		○		◎	○
	専門科目	4	臓器・系統別統合講義	血液・造血器系	必修	0.6		○		◎	○
	専門科目	3	臓器・系統別統合講義	感染症	必修	0.7		○		◎	○
	専門科目	4	臓器・系統別統合講義	免疫系	必修	0.6		○		◎	○
	専門科目	4	臓器・系統別統合講義	感覚器系	必修	1.4		○		◎	○
	専門科目	4	臓器・系統別統合講義	運動器系	必修	1.2		○		◎	○
	専門科目	4	臓器・系統別統合講義	脳神経系	必修	1.9		○		◎	○
	専門科目	4	臓器・系統別統合講義	精神系	必修	1		○		◎	○
	専門科目	4	臓器・系統別統合講義	皮膚系	必修	0.9		○		◎	○
	専門科目	4	臓器・系統別統合講義	小児・発達系	必修	1.8		○		◎	○
	専門科目	4	臓器・系統別統合講義	生殖系	必修	1.6		○		◎	○
	専門科目	4	臓器・系統別統合講義	麻酔・蘇生系	必修	1		○		◎	○
	専門科目	4	臓器・系統別統合講義	救命救急系	必修	0.4		○		◎	○
	専門科目	4	臓器・系統別統合講義	総合診療医学	必修	1		○		◎	○
	専門科目	4	臨床実技入門		必修	2.3	○	○		◎	
	専門科目	4	医療シミュレーション教育コース		必修	0.4	○	○		◎	
	専門科目	5	基本臨床実習	消化器・肝臓内科学	必修	1.7	○		○	◎	
	専門科目	5	基本臨床実習	血液・腫瘍・呼吸器内科学	必修	1.7	○	○	○	◎	○

科目区分		年次	授業科目名		必修 選択	単位数	修得できる力				
							実践力	探究力	コミュニケーション力	専門力	教養力
	専門科目	5	基本臨床実習	腎・免疫・内分泌代謝内科学	必修	1.7	○	○	○	◎	○
	専門科目	5	基本臨床実習	神経精神医学	必修	1.7	○		○	◎	
	専門科目	5	基本臨床実習	小児科学・小児神経学	必修	1.7	○		○	◎	
	専門科目	5	基本臨床実習	消化器外科学	必修	1.7	○		○	◎	
	専門科目	5	基本臨床実習	呼吸器・乳腺内分泌外科学	必修	1.7	○		○	◎	
	専門科目	5	基本臨床実習	整形外科	必修	1.7	○		○	◎	
	専門科目	5	基本臨床実習	皮膚科学	必修	1.7	○		○	◎	
	専門科目	5	基本臨床実習	泌尿器科学	必修	1.7	○		○	◎	
	専門科目	5	基本臨床実習	眼科学	必修	1.7	○		○	◎	
	専門科目	5	基本臨床実習	耳鼻咽喉科学	必修	1.7	○	○	○	◎	
	専門科目	5	基本臨床実習	放射線医学	必修	1.7	○		○	◎	
	専門科目	5	基本臨床実習	産婦人科学	必修	1.7	○		○	◎	
	専門科目	5	基本臨床実習	麻酔・蘇生学	必修	1.7	○		○	◎	
	専門科目	5	基本臨床実習	周産期・新生児	必修	1.7	○		○	◎	
	専門科目	5	基本臨床実習	脳神経外科学	必修	1.7	○		○	◎	
	専門科目	5	基本臨床実習	総合内科学	必修	1.7	○	○	○	◎	
	専門科目	5	基本臨床実習	循環器内科学	必修	1.7	○	○	○	◎	
	専門科目	5	基本臨床実習	心臓血管外科学	必修	1.7	○		○	◎	
	専門科目	5	基本臨床実習	神経内科学	必修	1.7	○		○	◎	
	専門科目	5	基本臨床実習	救命救急・災害医学	必修	1.7	○	○	○	◎	◎
	専門科目	5	基本臨床実習	形成外科学	必修	1.7	○		○	◎	
	専門科目	5	基本臨床実習	ワクチン実習	必修	0.1	○		○	◎	
	専門科目	5~6	選択制臨床実習			必修	23	○		○	◎
	専門科目	2	医学史			必修	0.5		○		◎
	専門科目	4	老年医学			必修	0.4		○		◎
	専門科目	3	臨床薬理学・薬剤学			必修	0.4		○		◎
	専門科目	4	緩和医療学			必修	0.4		○		◎
	専門科目	3	東洋医学			必修	0.6		○		◎
	専門科目	3	医療政策・地域医療学			必修	0.4		○		◎
	専門科目	3	ゲノム医療			必修	0.4		○		◎

◎、○の記号は修得できる力との関連度を表す。 ◎：強く関連する、○：関連する

医学部保健学科 看護学専攻 カリキュラム・マップ

卒業・学位授与方針（ディグリー・ポリシー）における修得できる力

医学部 保健学科	実践力	探究力	コミュニケーション力	専門力	教養力
	医療・保健のリーダーとして課題解決に挑む実践力	生命や事象をありのままに捉え、医療・保健の課題を見出す探究力	医療・保健において他者と繋がり学び合うコミュニケーション力	地域・世界の医療・保健が求める基礎的かつ体系的な専門力	人間性に富む医療実現のため絶えず好奇心を持って学び続けることができる教養力
	個人ならびに医療チームの一員として、高い倫理観を持って時代と社会をリードして、地域・世界の多様な医療課題の解決のために、自ら進んで行動することができる。	高度医療人および研究者として、恒常的な医療の質向上のために、絶えず学術的かつ多角的な視点で課題を見出し、改善に向けて取り組むことができる。	高度医療人および研究者として、多様な方法を適切に用いながら、共感性豊かな対話と傾聴によって、差異を超えて互いを高め合うことができる。	高度医療人および研究者として、専門領域における基盤的知識・技能を高い水準で身につけ、必要に応じて健康に関わる技術開発や課題解決に活用できる。	高度医療人および研究者として、地域・世界の多様な医療・保健の課題に関心を持ち、人間性に富む医療のための豊かな教養を身に付けるため、絶えず好奇心を持って学び続けることができる。

区 分		科目名	年次	単位数		修得できる力				
				必修	選択	実践力	探究力	コミュニケーション力	専門力	教養力
専 門 基 礎 科 目	ガイダンス	医療人の在り方	1	1				◎		○
	生命科学	栄養・代謝学	1	2			○		◎	◎
		形態・機能学	1	2					◎	
		感染免疫学	1	1			○		◎	◎
		基礎遺伝子学	1		2		◎		○	◎
		基礎病態学	1	2					◎	◎
		基礎微生物学	1		1		○		○	◎
		臨床薬理学	1	2			○		◎	○
	人間科学	医学概論	1	1					◎	
		保健科学入門	1	1			○		◎	○
		ヘルスプロモーション入門	1	1			○		◎	○
		教育学入門	2		1		○		◎	○
		臨床心理学	1	2			○	○	◎	
	情報科	保健統計学	2	1			◎			
		レギュラトリーサイエンス入門	2	1			○		◎	
	保健福祉科学	国際保健システム論	2		2		○		◎	○
		基礎公衆衛生	2		1		○		◎	◎
		保健行政論	2	2			○		◎	
		社会福祉論	1	2			○		◎	○
専	看護病態学	成人疾病病態論（慢性疾患）	2	1			○		◎	
		成人疾病病態論（急性疾患）	2	1			○		◎	
		老年病態論	2	0.5			○		◎	
		精神病態論	2	0.5			○		◎	
		小児病態論	2	1			○		◎	
		女性病態論	2	1			○		◎	
		看護学概論	1	1			○		◎	
		看護キャリア入門	1	1			○		◎	
		ケア技術のエビデンスⅠ	1	1		○		○	◎	
		ケア技術のエビデンスⅡ	3	1		○		○	◎	
		看護人間関係論	1	1			○	○	◎	

区 分		科目名	年次	単位数		修得できる力				
				必修	選択	実践力	探究力	コミュニケーション力	専門力	教養力
門 科	基礎看護学	看護過程論	2	1			○		◎	
		感染看護学	3	1			○		◎	
		健康生活援助論Ⅰ	2	1		○	○		◎	○
		健康生活援助論Ⅱ	2	1		○	○		◎	○
		療養生活援助論Ⅰ	2	1		○	○		◎	
		療養生活援助論Ⅱ	2	1		○	○		◎	
		基礎看護学実習Ⅰ	1	1		◎		◎	◎	
		基礎看護学実習Ⅱ	2	2		◎		◎	◎	
	地域・在宅看護学	人間生活論	1	1			○		◎	○
		地域生活支援論	1	1		○	○		◎	
		家族援助論	2	1		○	○		◎	
		地域包括ケア論	2	1		○	○		◎	
		健康学習支援論	2		1	○	○		◎	
		地域・在宅看護学概論	2	1			○		◎	
		地域・在宅看護学	3	1			○		◎	
		地域・在宅看護学実習	3,4	2		◎		◎	◎	
	成人看護学	成人看護学概論	2	1			○		◎	
		成人看護学Ⅰ	2	2			○		◎	
		成人看護学Ⅱ	3	1			○		◎	
		クリティカルケア論	3	1			○		◎	
		エンドオブライフケア論	2		1		○		◎	
		成人看護学実習Ⅰ	3	3		◎		◎	◎	
		成人看護学実習Ⅱ	4	2		◎		◎	◎	
	老年看護学	老年看護学概論	2	1			○		◎	
		老年看護学Ⅰ	3	1			○		◎	
		老年看護学Ⅱ	3	1			○		◎	
		老年看護学実習	3,4	2		◎		◎	◎	
	精神看護学	精神看護学概論	2	1			○		◎	
		精神看護学	3	2			○		◎	
		精神看護学実習	3,4	2		◎		◎	◎	
	小児看護学	小児看護学概論	2	1			○		◎	
		小児看護学Ⅰ	3	1			○		◎	
		小児看護学Ⅱ	3	1			○		◎	
		小児看護学実習	3,4	2		◎		◎	◎	
	母性看護学	母性看護学概論	2	1			○		◎	
		母性看護学Ⅰ	3	1			○		◎	
母性看護学Ⅱ		3	1			○		◎		
母性看護学実習		3,4	2		◎		◎	◎		
科		看護理論	2		1		○		◎	
		看護アセスメント	3	1			○		◎	
		看護シミュレーション教育：臨床技能評価	4		1	◎	○		◎	

区 分		科目名	年次	単位数		修得できる力				
				必修	選択	実践力	探究力	コミュニケーション力	専門力	教養力
目	看護の統合と実践	看護管理学	3	1			○		◎	
		看護実践倫理	3	1			○		◎	
		災害看護論	4		1		○		◎	
		統合実習Ⅰ	3, 4	2		◎		○	◎	
		統合実習Ⅱ	4	2		◎		◎	◎	
		看護マネジメント実習	4	1		◎		◎	◎	
		医療文献リーディング	3		1		○		◎	
		研究の基礎	3	1			○		◎	
		卒業研究Ⅰ	3	1		◎	◎		◎	
		卒業研究Ⅱ	4	2		◎	◎		◎	
	専門科目で学ぶ英語	英語で学ぶ看護過程	3		1	○		○	◎	
		異文化間看護	3		1	○		○	◎	
		Global Inter-professional Work	3, 4		1			○	◎	○
		Global Exploratory Practice	3, 4		1			○	◎	○
	多職種連携科目	多職種連携とチームワーク	2	1		○	○	◎		
		多職種連携とチーム医療	3	0.5		○	○	◎		
	その他	正課外活動実践	1-4		1	○	○	◎		
	公衆衛生看護学	公衆衛生看護学概論	3		2				◎	
		公衆衛生看護活動論Ⅰ	3		2		◎	◎	◎	
		公衆衛生看護活動論Ⅱ	3		2	○		◎	◎	
		公衆衛生看護活動論Ⅲ	3		2	○		◎	◎	
		公衆衛生看護学実習Ⅰ	4		2	◎		◎	◎	
		公衆衛生看護学実習Ⅱ	4		3	◎		◎	◎	

◎、○の記号は修得できる力との関連度を表す。 ◎：強く関連する、○：関連する

医学部保健学科 放射線技術科学専攻 カリキュラム・マップ

卒業・学位授与方針（ディグリー・ポリシー）における修得できる力					
医学部 保健学科	実践力	探究力	コミュニケーション力	専門力	教養力
	医療・保健のリーダーとして課題解決に挑む実践力	生命や事象をありのままに捉え、医療・保健の課題を見出す探究力	医療・保健において他者と繋がり学び合うコミュニケーション力	地域・世界の医療・保健が求める基礎的かつ体系的な専門力	人間性に富む医療実現のため絶えず好奇心を持って学び続けることができる教養力
	個人ならびに医療チームの一員として、高い倫理観を持って時代と社会をリードして、地域・世界の多様な医療課題の解決のために、自ら進んで行動することができる。	高度医療人および研究者として、恒常的な医療の質向上のために、絶えず学術的かつ多角的な視点で課題を見出し、改善に向けて取り組むことができる。	高度医療人および研究者として、多様な方法を適切に用いながら、共感性豊かな対話と傾聴によって、差異を超えて互いを高め合うことができる。	高度医療人および研究者として、専門領域における基盤的知識・技能を高い水準で身につけ、必要に応じて健康に関わる技術開発や課題解決に活用できる。	高度医療人および研究者として、地域・世界の多様な医療・保健の課題に関心を持ち、人間性に富む医療のための豊かな教養を身に付けるため、絶えず好奇心を持って学び続けることができる。

区 分		授 業 科 目	年次	単位数		修得できる力				
				必修	選択	実践力	探究力	コミュニケーション力	専門力	教養力
専門基礎科目	ガイダンス	医療人の在り方	1	1				◎		○
	生命科学	栄養・代謝学	1	2			○		◎	◎
		形態・機能学	1	2					◎	
		感染免疫学	1	1			○		◎	◎
		基礎病態学	1	2					◎	◎
		臨床薬理学	1	2			○		◎	○
	人間学	保健科学入門	1	1			○		◎	
		ヘルスプロモーション入門	1	1			○		◎	○
	情報学	保健統計学	2	1			◎			
		レギュラトリーサイエンス入門	2	1			○		◎	
	保健学福祉科	基礎公衆衛生	2	1			○		◎	◎
		保健行政論	2	2			○		◎	
		社会福祉論	1	2			○		◎	○
専門	医	放射線物理学Ⅰ	2	1			○		◎	
		放射線物理学Ⅱ	2	1			○		◎	
		放射線物理学Ⅲ	2	1			○		◎	
		放射線計測学	2	1			○		◎	
		放射線治療物理学	3	1		○			◎	◎
		放射線治療計測学実験	3	1		◎	○	○		
		放射線計測学実験	3	1		◎	○	○		
	用	放射化学Ⅰ	2	1			○		◎	
		放射化学Ⅱ	2	1			○		◎	
		放射化学実験	2	1		◎	○	○		
		放射線生物学	2	1			○		◎	
		放射線概論	3		1				◎	◎
	放	放射線機器工学Ⅰ	2	1		○			◎	
		放射線機器工学Ⅱ	2	1		○			◎	
		放射線機器工学Ⅲ	3	1		○			◎	
		医用画像検査機器工学	3	1		○			◎	
		医用機器安全管理学	3		1	○			◎	

区 分		授 業 科 目	年 次	単位数		修得できる力				
				必修	選択	実践力	探究力	コミュニケーション力	専門力	教養力
門	射線科	放射線機器工学実験	3	2		○	○	○		
		基礎電気工学	1	2						◎
		電気工学実験	2	1				○		◎
		電気電子工学	2	2						◎
		電子工学実験	3	1				○		◎
		電子制御工学	3	1						◎
		医療情報学	3	1			○		◎	
		医療情報学演習	3		1	◎		○	○	
		生体情報科学	4		1					◎
		生体情報科学演習	4		1	◎		○		
		医用画像工学	3	1			○		◎	
		医用画像処理学	3	1			○		◎	
		医用画像処理学演習	3	1		◎				
		医用画像管理学	4	1					◎	
		放射線写真科学	2	1					○	◎
		基礎医用画像情報学実験	2	1		◎		○		
		放射線衛生学	2	1						◎
		放射線安全管理学	2	1						◎
		放射線安全管理学実験	3	1		◎		○		
	放射線診療技術科	医学概論	1	1					◎	
		放射線医学概論	1	1					◎	○
		放射線医科学史	1		1					◎
		放射線画像解剖学	2	1					◎	
		実践臨床画像学	3	1			○		◎	
		実践臨床画像学演習	3	1		◎			○	
		診療撮影技術学Ⅰ	2	1					◎	
		診療撮影技術学Ⅱ	2	1					◎	
		診療撮影技術学Ⅲ	3	1					◎	
		診療撮影技術学実習	3	2		◎		○		
		C T 撮影技術学	3	1		○			◎	
		MR I 撮影技術学	3	1		○			◎	
		超音波検査技術学	3	1		○			◎	
		診療撮影技術学Ⅳ	3		1	○			◎	
		放射線治療技術学Ⅰ	3	1		○			◎	
		放射線治療技術学Ⅱ	3	1		○			◎	
		放射線腫瘍学	4	1		○			◎	
		核医学検査技術学Ⅰ	3	1		○			◎	
		核医学検査技術学Ⅱ	3	1		○			◎	
	放射線診療技術科	医療安全管理学	4	1		○			◎	
		臨床実習Ⅰ	3	3		◎		◎		
		臨床実習Ⅱ	4	8		◎		◎		
		臨床医学特別演習	4	2					◎	○
		診療撮影技術学特講	3	1		○			◎	

区 分		授 業 科 目	年次	単位数		修得できる力				
				必修	選択	実践力	探究力	コミュニケーション力	専門力	教養力
目	学	放射線治療技術学特講	3		1	○			◎	
		核医学検査技術学特講	4	1		○			◎	
		臨床技能実習	3	1		◎		◎		
		放射線関連法規論	3	1					◎	
		卒業研究	4	6		◎	◎		○	
	専 英 門 語 科 で 目 学 ぶ	放射線技術学のための医療英語 1	3		1				○	◎
		放射線技術学のための医療英語 2	4		1				○	◎
		Global Inter-professional Work	3, 4		1			○	◎	○
		Global Exploratory Practice	3, 4		1			○	◎	○
	連 多 携 職 科 種 目	多職種連携とチームワーク	2	1		○	○	◎		
		多職種連携とチーム医療	3	0.5		○	○	◎		
	他 所 の	正課外活動実践	1-4		1	○	○	◎		

◎、○の記号は修得できる力との関連度を表す。 ◎：強く関連する、○：関連する

医学部保健学科 検査技術科学専攻 カリキュラム・マップ

卒業・学位授与方針（ディグリー・ポリシー）における修得できる力					
医学部 保健学科	実践力	探究力	コミュニケーション力	専門力	教養力
	医療・保健のリーダーとして課題解決に挑む実践力	生命や事象をありのままに捉え、医療・保健の課題を見出す探究力	医療・保健において他者と繋がり学び合うコミュニケーション力	地域・世界の医療・保健が求める基礎的かつ体系的な専門力	人間性に富む医療実現のため絶えず好奇心を持って学び続けることができる教養力
	個人ならびに医療チームの一員として、高い倫理観を持って時代と社会をリードして、地域・世界の多様な医療課題の解決のために、自ら進んで行動することができる。	高度医療人および研究者として、恒常的な医療の質向上のために、絶えず学術的かつ多角的な視点で課題を見出し、改善に向けて取り組むことができる。	高度医療人および研究者として、多様な方法を適切に用いながら、共感性豊かな対話と傾聴によって、差異を超えて互いを高め合うことができる。	高度医療人および研究者として、専門領域における基盤的知識・技能を高い水準で身につけ、必要に応じて健康に関わる技術開発や課題解決に活用できる。	高度医療人および研究者として、地域・世界の多様な医療・保健の課題に関心を持ち、人間性に富む医療のための豊かな教養を身に付けるため、絶えず好奇心を持って学び続けることができる。

区 分		科目名	年次	単位数		修得できる力				
				必修	選択	実践力	探究力	コミュニケーション力	専門力	教養力
専門基礎科目	ガイダンス	医療人の在り方	1	1				◎		○
	生命科学	栄養・代謝学	1	2			○		◎	◎
		形態・機能学	1	2					◎	
		病態・組織解剖学	1	2		◎	○		◎	
		感染免疫学	1	1			○		◎	◎
		基礎遺伝子学	1	2			◎		○	◎
		基礎病態学	1	2					◎	◎
		臨床薬理学	1	2			○		◎	○
	情報学科	医用工学入門	1	1			○			◎
		保健統計学	3	1			◎			
	保健福祉科	基礎公衆衛生	2	1			○		◎	◎
		保健行政論	4	2			○		◎	
		医学概論	1	1					◎	
専門	病態検査学	病理学	3	2		○	◎		◎	
		病理学実習	3	2		◎	○		○	
		細胞診検査学	3	1		○	○		◎	
		血液検査学	2	2			○		◎	
		血液検査学実習	3	2		○		○	◎	
		臨床免疫学	3	1		○			◎	○
		免疫検査学	3	1			○		◎	◎
		免疫検査学実習	3	1		◎		◎	○	
		輸血検査学	2	2			○		◎	
		輸血検査学実習	2	1		○		○	◎	
		臨床化学検査学	2	2			○		◎	◎
		検査自動化論	3	1					◎	○
		臨床化学検査学実習	3	2		◎	◎		◎	
		検査総合管理学Ⅰ	3	2					◎	○
		検査総合管理学Ⅱ	4	1					◎	○
		一般検査学	2	2					○	◎
		一般検査学実習	2	1			○		◎	

